

美術 1 美術との出会い

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	[共通事項]	
	p.2~7 オリエンテーション ・美術との出会い ・アニメーションの背景画から ・風景を見つめ直して ・学びの言葉 松任谷由実 ・中学校美術の世界へようこそ 1 時間	○構図や色彩、描き方などの視点から季節や時間の流れを表すための工夫が読み取れる題材である。 ○中学生にとっても見慣れた作品を手掛けた作家の作風や、自然を見つめるまなざしに触れることにより、美術へのオリエンテーションとして扱うことができる。 ○構図や色彩、描き方などの視点から季節や時間の流れを表すための工夫が読み取れる題材である。 ○中学生にとっても見慣れた作品を手掛けた作家の作風や、自然を見つめるまなざしに触れることにより、美術へのオリエンテーションとして扱うことができる。 ○小学校の図画工作から中学校の美術へスムーズに移行するために活用する。 ○美術は難しいのではないかという不安を感じている生徒が、3年間の学びのつながりや広がりを見通せることで安心して意欲的に取り組める。 ○美術の学びが小学校から、そして中学校卒業後もつながっていくイメージを抱かせるなどして、生徒の興味を喚起したい。	教師 教科書					
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.12-13 見つめると見えてくるもの 8 時間	題材の目標 身近なものや愛着のあるものを見つめ、感じ取った形や色彩、明暗、質感などの特徴や美しさを基に主題を生み出し、表現方法を工夫して絵で表現する。 主な学習内容 ○身近なものや愛着のあるものをよく見たり、触ったりして特徴を捉え、主題を生み出す。 ○主題を基に、全体と部分との関係を考えるなどして構想を練る。 ○鉛筆や絵の具の特性を生かして、意図に応じて工夫して表す。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	教師 画用紙 スケッチブック など 生徒 モチーフ 筆記用具 色鉛筆 絵の具 パステル など	（知識・技能） 知 形や色彩、明暗、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさ、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 線の強弱や水加減などの鉛筆や絵の具の生かし方を身に付け、意図に応じて工夫して表している。 （思考・判断・表現） 発 身近なものを見つめ感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近なものの特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(7) (2)ア(7)	(1)ア(7)	(1)アイ	
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.18-19 人間っておもしろい 3 時間	題材の目標 身近な人の特徴や表情やしぐさを思い浮かべて、その人らしさを考えて主題を生み出し、その人への気持ちを表せるように材料や用具を工夫して絵や立体で表現する。 主な学習内容 ○その人らしさが表れる表情やポーズ、しぐさなどを考えながらスケッチを繰り返して主題を生み出す。 ○主題を基に、構図などを考えて構想を練る。 ○材料や用具を生かして、意図に応じて工夫して表す。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	教師 画用紙 など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具 など	（知識・技能） 知 顔の角度や表情、しぐさ、色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、身近な人のよさや印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 材料や用具の生かし方を身に付け、意図に応じて工夫して表している。 （思考・判断・表現） 発 身近な人を見つめ感じ取った特徴などを基に主題を生み出し、構図を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近な人の特徴などを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(7) (2)ア(7)	(1)ア(7)	(1)アイ	B(6)

美術 1 美術との出会い

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	[共通事項]	
デザインや工芸など（表現・鑑賞）	p.42-43 文字っておもしろい 7時間	題材の目標 イメージや伝えたい内容が相手に分かりやすく伝わるよう、形や色彩、構成を考え、材料や用具などを工夫して文字をデザインする。 主な学習内容 ○身近なところにあるデザインされた文字を鑑賞し、形や色彩から受ける印象やその違いについて考える。 ○文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考えてデザインする。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	教師 画用紙 レタリング字典 など 生徒 筆記用具 絵の具 ペン など	（知識・技能） 知 文字や文字が意味するものの形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解している。 技 絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。 （思考・判断・表現） 発 文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考え、表現する構想を練っている。 鑑 文字の意味と分かりやすさととの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく意味や美しさなどを生かして文字をデザインするなど伝達のデザインの目的や機能を考え、表現する構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく文字の意味と分かりやすさととの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ(イ) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)	(1)アイ	
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.20-21 材料に命を吹き込む 8時間	題材の目標 材料の形や色彩、質感などからイメージを広げて主題を生み出し、材料の組み合わせ方や用具を工夫して立体で表す。 主な学習内容 ○木や石、日用品などの形や色彩、質感などの特徴から主題を生み出す。 ○主題を基に、全体と部分との関係を考えるなどして構想を練る。 ○粘土などの特性を生かして、意図に応じて工夫して表す。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	教師 木 石 日用品 加工粘土 接着剤 など 生徒 筆記用具 木 石 日用品 絵の具 など	（知識・技能） 知 材料の形や色彩、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、何かに見立てたりするなど全体のイメージで捉えることを理解している。 技 粘土などの生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 （思考・判断・表現） 発 材料を見つめ感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近な材料の特徴や美しさなどを基に見立てるなどして構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア) (2)ア(ア)	(1)ア(ア)	(1)アイ	
絵や彫刻など（鑑賞）	p.28-29 美のタイムトラベル 1時間	題材の目標 形や色彩、模様、材料や場所に着目し、原始美術の造形的なよさや美しさ、当時の人々の願いや作者の意図と工夫について考えるなど見方や感じ方を広げる。 主な学習内容 ○ラスコーの壁画や遮光器土偶など原始美術の表現を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことなどを話し合う。 ○作品を通して、作者の心情や表現意図、創造的な工夫などを考えて発表し合う。 ○発表意見や自分の考えなどから、人間と造形の関わりを理解し、なぜ美術が生まれたのかについてまとめる。	教師 参考資料 ワークシート 視聴覚機器 など 生徒 筆記用具 地図帳 など	（知識・技能） 知 形や色彩、模様、材料、場所などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさ、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 （思考・判断・表現） 鑑 日本及び諸外国の文化遺産などから、よさや美しさなどを感じ取り、人々の願いや、作者の意図と表現の工夫、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、人々の願いや、作者の意図と表現の工夫、美術文化について考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)イ(イ)	(1)アイ	D(21)

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	[共通事項]	
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.24-25 刷って出会う楽しさ 1時間	題材の目標 表したい主題に合うように版の特性を生かした表現効果を考え、材料や用具を工夫して版で表す。 主な学習内容 ○版による表現を用いた作品を鑑賞し、版で表す効果や技法による表現の違いなどを感じ取る。 ○対象から感じ取ったことや想像したことなどを基に、版の特徴を考えながら主題を生み出す。 ○主題を基に、版による表現の効果を工夫して構想を練る。 ○彫りや刷りを生かして、意図に応じて工夫して表す。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	教師 版木 （版による表現に必要なもの）など 生徒 筆記用具 彫刻刀 など	（知識・技能） 知 形や色彩、線や面、影の表し方などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、版による表現のよさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 彫りや刷りの生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 （思考・判断・表現） 発 感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、版による表現の効果を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と彫りや刷りの工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表したい主題などを基に構想を練ったり、意図に応じて彫りや刷りを工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく版による表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(7) (2)ア(7)	(1)ア(7)	(1)アイ	
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.22-23 墨と水の出会い 1時間	題材の目標 水の量や筆の動かし方、線の勢いなどを試しながら主題を生み出し、工夫して表す。 主な学習内容 ○墨による表現を用いた作品を鑑賞し、水分量や筆の動かし方などによる表現の違いを感じ取る。 ○水の量や筆の動かし方、線の勢いを試しながら、感じ取った形や色彩の特徴や美しさなどから主題を生み出し、構想を練る。 ○墨や筆の動かし方などを生かして、意図に応じて工夫して表す。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	教師 和紙 色紙 画筆 ローラー 絵皿 筆拭き 筆洗い など 生徒 筆記用具 書道用具 など	（知識・技能） 知 墨の濃淡や筆の線の勢いなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、墨による表現のよさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 墨や筆の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 （思考・判断・表現） 発 感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、墨による表現の効果を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と筆使いや水加減の工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表したい主題などを基に構想を練ったり、意図に応じて筆使いや水加減を工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく墨による表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(7) (2)ア(7)	(1)ア(7)	(1)アイ	C(17)
デザインや工芸など（鑑賞）	p.54-55 自然の美しさから生まれた 15時間 p.56-57 祭りを彩る造形	題材の目標 ・自然物を発想の源としてつくられたものや自然の造形を生かした建築の装飾の工夫や美しさを感じ取り、生活の中の美術の動きを理解する。 ・日本やアジアの祭りに見られる造形物の特徴やイメージの違いを感じ取るとともに、住んでいる地域の美術の伝統文化への関心を高める。 主な学習内容 ○自然の美しさを取り入れたデザインを鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことなどを話し合う。 ○自然界の美しさを生かした造形が、身近な暮らしをどのように彩っているかを探し、自然と共存してきた人類の美意識について考えて意見を述べ合う。	教師 参考資料 ワークシート 視聴覚機器 など 生徒 筆記用具 など	（知識・技能） 知 形の規則性や連続性、構造などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、美しさや特徴、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 （思考・判断・表現） 鑑 自然の造形を取り入れた形や構成の美しさなどを感じ取り、作者の意図と工夫や、生活を美しく豊かにする美術の動きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく自然の造形を取り入れた形や構成の美しさなどを感じ取り、作者の意図と工夫や、生活を美しく豊かにする美術の動きについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)イ(7)	(1)アイ	D(21)